

UDLM

5

vol.346

May 31st
2024

都市の道をひらく

屋外で過ごすのが気持ち良い5月、ウォークラブルなまちづくりが進むご時世の中、歩行者に都市の「道を開く」イベント、特に主担当の趣味であるマラソン大会に着目して特集します。

副担当部分では都市デザイン研究室から都市の「道を開く」JM1 4名、B4 5名を特集します。

- p.2 道を開くイベント
- p.3 道を開くマラソン
- p.4-5 東京マラソンコースから都市を見る
- p.6-7 都市の道を開く B4/M1 紹介

△東京駅前の行幸通り。中央部分は一時期皇室専用だったが、2010年に一般に開放された。
本号で取り上げる、東京マラソンのフィニッシュ地点にもなっている。

道を開くイベント

道は古くから通行のためだけでなく、商業や滞留、祭礼の場として用いられてきた。高度経済成長期以降、道路空間は自動車为主导になったが、近年歩行者に道路空間を開く動きが広がっている。2019年には国土交通省により『まちなかウォーカーブル推進事業』が始まり、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりの取り組みに対する補助制度が確立した。また、2020年か

ら『ほこみち制度』が始まり、指定区域で道路占用許可が柔軟に認められることになった。このような道路空間の活用が特に目立つのが「イベント実施時」である。今回は「道を開くイベント」として代表的なものを8種紹介する。

祭行事

祇園祭前祭山鉾巡行



古くから道路は祭行事の舞台として用いられてきた。

京都を代表する祭りである祇園祭では、目抜き通りの四条通を山鉾が巡行するが、四条通は厳しい屋外広告物規制による景観整備や、歩道拡幅による確保で、祭礼空間にふさわしい道路となった。

フードフェス

前橋バルストリート



道路空間の活用イベントとして、テントやキッチンカーで仮設飲食店を配置するケースが増えている。

前橋市では、駅と都心・県庁を結ぶ都市軸であり、まちなかウォーカーブル区域でもある けやき通りを6車線全面通行止めにし、群馬県内の飲食店を集め、イベントを開催した。

雪まつり

さっぽろ雪まつり



戦後に始まった都市型イベントが、重要な観光資源になっている例も多い。

札幌市の雪まつりは、寒冷地という街の特徴を活かしたイベントとして有名で、メイン会場の大通公園以外に繁華街のすすきのの道路には氷の彫刻が並べられ、ネオンが反射して幻想的な風景を創出している。

街路市

土佐の日曜日



古くからまちなかの道路では定期的な市が開かれてきた。

高知市では今も週四日、市が開かれ、日曜日は午前6時頃から午後3時頃まで、クスノキとフェニックスで彩られ南国情緒あふれる追手筋に、約1kmに渡り多くの店が立ち並ぶ。

イルミネーション

大阪・光の饗宴



クリスマス前になると、各地の道路でイルミネーションが行われるが、歩行者天国になるイベントもある。

大阪では都市軸である御堂筋が、梅田から難波までイルミネーションで彩られる。イベント初日は一部区間が歩行者に開放されるが、将来的にフルモル化を目指す御堂筋において先駆けとも言えるだろう。

札幌

仙台

前橋

さいたま

東京

京都
大阪

高知

市街地サーキット

ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム



近年、スポーツイベントの開催や誘致を行うスポーツツーリズムの動きが盛んになっているが、さいたま市は先進都市として知られている。

毎年秋にはツール・ド・フランスの姉妹イベントが開かれ、世界中から集まった選手がさいたま新都心を駆け抜ける。

【写真引用】

仙台国際ハーフマラソン公式X
https://x.com/sendai_half/status/1597018965095907328
 京都新聞【京都・祇園祭2023】山鉾巡行を烏丸御池からライブ中継
https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1066351#goog_rewarded
 東京高速道路 KK線再生プロジェクト
<https://www.kk-saisei.com/>
 2023 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム
<https://saitama-criterium.jp/2023/>
 るぶ&more 御堂筋と中之島が光に包まれる!『大阪・光の饗宴2019』が11月4日から開催
<https://rurubu.jp/andmore/article/9202>
 群馬県 前橋バルストリート 2023 ~道路空間を活用した大規模フードフェス~
<https://www.pref.gunma.jp/uploaded/attachment/612491.pdf>
 さっぽろ雪まつり すずきの会場の見どころ紹介
<https://www.snowfes.com/news/591.html>
 高知市 観光情報サイト 日曜日
<https://www.city.kochi.kochi.jp/site/kanko/nichiyouchi.html>

マラソン大会

仙台国際ハーフマラソン



近年、多くの主要都市でマラソン大会が開かれ、街の特徴ある通りをコースに組み込むことも多い。

仙台国際ハーフマラソンではケヤキ並木の定禅寺通りをコースに取り入れ、「杜の都 仙台」をアピールするコースとなっている。

高速道路社会実験

GINZA SKY WALK



道路占用イベントは一般道がメインだが、稀に高速道路でも開かれ、その特別感から注目を浴びている。

東京高速道路を緑に囲まれた歩行者中心の空中回廊にする計画があり、2023年、2024年に社会実験が行われ、実験中は遊具、ステージ、キッチンカーなどが高速道路上に配置された。

道を開くマラソン

数ある「道を開く」イベントの中で、主担当の趣味であるマラソン大会に着目する。

2007年東京マラソンを契機として市民参加型のマラソン大会が急増し、「街の魅力の発信」を開催目的の一つとしたマラソン大会が、主要都市で数多く開かれている。建築物や土木構造物、公園広場が設計者の作品なら、マラソ

ンコースは都市内の作品を結んだ作品集といえ、各大会主催者はスタート/フィニッシュ会場のキャパシティ、道路幅員、交通影響等様々な制約下でできるだけ都市の魅力を感じられるようなコースを設計している。

ここでは国内の複数の都市の大会を取りあげ、マラソンコースと都市の関係について読み解いてみる。

マラソンコースを通じて震災復興を伝える 東北・みやぎ復興マラソン



「記憶の風化防止」「被災地への経済的支援」といった大会コンセプトで2017年に始まった大会。コースの4分の3を東日本大震災時の浸水区域に設定し、かさあげ道路や震災遺構、復興公園を通るなど、被災と復興の様子を体感できるマラソンコースとなっている。防災・減災展示コーナーの設置、非常食の提供などがあるのも大会の特徴といえる。近年は少なくなったが、東日本大震災から数年間は東北各地で復興をテーマにした大会が開かれていた。

マラソン大会を通じて名産品をアピール 果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン



さくらんぼ生産量日本一をアピールすべく2002年に始まった大会。コースの中盤はさくらんぼ果樹園の傍を走るほか、コース途中や会場ではさくらんぼの試食・販売が盛んに行われている。首都圏の駅構内に大会ポスターを貼りだすことで、マラソンに興味がない層にも「さくらんぼの街といえば東根市」というシティプロモーションに成功した。他にも、ラフランス、みかん、すいか、桃、いちご、メロンなど、フルーツをアピールする大会が各地で開かれている。

【参照・写真引用】

東北・みやぎ復興マラソン2023 <https://www.fukko-marathon.jp/archives/2023/>

富山マラソン2024 <https://www.toyamamarathon.com/>

果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会 <https://www.sakuranbo-m.jp/>

山陰道「大田・静間道路」「静間・仁摩道路」開通記念イベント <http://plusvalue.co.jp/sanindokaitsu/>

朝日新聞デジタル 山陰道「大田・静間」と「静間・仁摩」の開通前にPR https://www.asahi.com/articles/ASS2S6QR8S2PTIB001.html?iref=pc_photo_gallery_breadcrumb

コース上の3都市の差異を味わう 富山マラソン



北陸新幹線金沢延伸に合わせて2015年に始まった大会。高岡古城公園、重伝建山町筋、高岡大仏など歴史的資源が豊富な「高岡市」をスタートし、コース上最も坂が厳しくも立山連峰が美しい新湊大橋を擁する「射水市」を通り、県庁所在地でありながら神通川や環水公園の水辺が美しい「富山市」にゴールするような3都市の変化を味わえるようなコースとなっている。隣県の金沢マラソンも、市内の風情の異なる7ゾーンを回遊できることをアピールしている。

「道を開く」前に高速道路を開放 山陰道「大田・静間道路」「静間・仁摩道路」 開通記念プレイイベント



高速道路は都市間を結び重要な役割を担っているが、開通直前に一回限りでマラソンイベントが開かれることもある。鳥根県の山陰道の一部区間では2024年3月の開通前に、2月にマラソン・サイクリング・ウォーキングのイベントが開かれ、利用者にPRを行った。通常の大会よりも道路を走る特別感を味わえる大会といえる。ちなみに、横浜市や木更津市では、既存の高速道路を走る大会が毎年開かれている。

東京マラソンコースから都市を見る

国内に数あるマラソン大会の中でも、東京都心を駆け抜ける東京マラソンは格別といえる。世界の主要6レースの1つに数えられ、世界中からエリートランナーが集う一方で、国内最大規模の大会として、エンジョイランナーを含めて3万8千人ものランナーが参加する。

東京マラソンの様子は国内ではテレビ放映、海外でもインターネット配信され、東京の魅力を発信する絶好の機会となっている。そこで都市景観の観点から東京マラソンコースを分析すべく、5月10日、主担東條が実際に42.195km走ってみた。

西新宿



高層ビルと公開空気がコントラストを描き、広い歩車道が立体交差する西新宿の街は、ル・コルビュジェが描いたような近代都市を彷彿とさせる。多くの人間を捌く必要があるこの地域をスタート地点に据えることは、機能的に優れているほか、この地域の異質感は参加者に特別感を与えている。

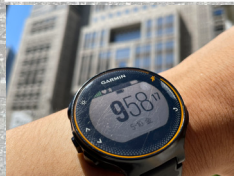
新宿～水道橋



ガードをくぐり歌舞伎町の風景が見えるのは印象的で、高架鉄道による景観の分断はランナーにも大きな印象を与える。

この区間は沿道に防衛省や東京ドームがある。事前情報がないと分かりにくいかもしれないが、緑の塊や、大きな建物群として、何か特別な建物があることは走行中でも認識できる。外濠区間も右側の視界が開けるので印象に残った。

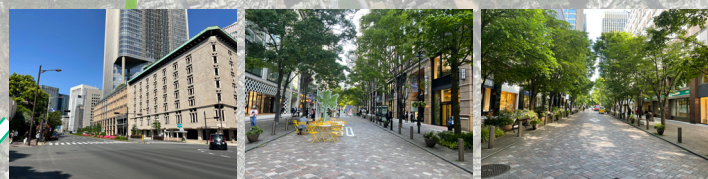
9:58
都庁前スタート



都市デザイン研究室（当時は都市設計研究室）の初代教授である丹下健三氏が設計した東京都庁前がスタート。マラソンの距離が42.195kmになった理由は、1908年のロンドン五輪時に王宮スタートにしたかったからなので、為政者の居城たる都庁をスタート地点にしているのは、そのメタファーともいえる。



日比谷・丸の内



日比谷の重厚な近代建築群や丸の内仲通りの石畳とビル群、それらを彩る街路樹は、フィナーレにふさわしい設えといえる。仲通りは車道幅が狭めなので、観衆の応援も近く印象に残るだろう。ただし、普段から歩行者に開放しているので大会時の特別感は薄いかもしれない。

14:47
東京駅前フィニッシュ



2017年に東京駅前・行幸通りの景観整備が完了したタイミングで、「東京の素晴らしさを内外に一層アピールする」ために、この地点がフィニッシュとなった。東京駅舎をバックに、皇居へのビスタ景観を味わいながらのフィニッシュは、ランナーにとって印象に残るだけでなく、写真や映像を通じて世界中に東京をPRすることにもつながっている。

西新橋・芝



東京タワーが印象的なエリア。スカイツリーに首位塔の座を譲ったとはいえ、やはり東京を代表する景観資源といえる。芝公園内の緑や増上寺三解脱門も目立つ。このあたりは箱根駅伝のコースとも重なるので、駅伝ファンには駅伝ランナーと同じ景観体験をできるのも魅力かもしれない。



神保町の古書店街、小川町のスポーツ街は看板を見れば認識できるが、事前情報がないと認識が難しい一方、秋葉原の電気街（サブカル街）は知名度と規模、派手な看板によって走行中でも認識可能だった。

この区間には著名な橋として万世橋があるが、アップダウンのない橋は走りやすいが体感しづらく、ランナーの印象には残りにくいと感じた。

走行中の補食



42.195kmの旅の途中、栄養補給は不可欠である。今回は14km地点・水天宮前の「重盛の人形焼」で人形焼きを、24km地点・深川不動堂前の「深川伊勢屋」でみたらし/ずんだ団子を、37km地点・田町駅前の「ローソン」でおにぎりを補給した。



日本橋三越をはじめとする商業施設のファサードが、ハレの場を演出していた。また、道路元標がある日本橋（橋）を通過することは、みちを走るイベントとして意味があるのかもしれない。

水天宮は大きな建物ではないが、木造である異質性によって目立っていた。

浅草・蔵前



雷門をアイストップに据えて走り、右折すると直後にスカイツリーが見えるこの区間は前半のクライマックスといえる。東京のような大都市の場合、歴史的建造物は、周囲に比べて建物高さが低く、空地があること、つまり凹みになっていることによって認識されるのだと実感できた。

蔵前橋でちょうど20kmを迎え、コースが次のステージに向かう感じを受けた。

両国・深川



景観と高低差ともに単調な区間であり、無心で走れて体力を温存できるケースと、飽きにより疲れるケースの両方が考えられる。

東京都復興記念館、江戸東京博物館、清澄庭園、富岡八幡宮鳥居などがコース上から見えるが、認識できるかどうかは事前情報に大きく左右されると感じた。

日本橋(南)・京橋・銀座



江戸橋一丁目交差点からの高層ビル群や、日本橋高島屋の豪華なファサードが、都心に帰ってきたことを実感させる。

銀座は高級店が立ち並ぶことや、御影石の舗装やカツラ植樹によって景観整備がなされていることによって、残り10kmにして特別感を味わえる地点となっている。

都市の道を拓く 新入生紹介 - B4 -

今年度から新しく5名のB4と4名のM1が都市デザイン研究室に加わります！
新しいメンバーたちはデザ研でどのような一年を過ごすのでしょうか？
お互いをよく知る同期からの他己紹介にも注目してみてください。

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1 デザ研を選んだ理由 | 📍 出身地 |
| 2 今年 목표 | 🎓 B4 : 出身科類
M1 : 出身大学 |
| 3 得意なこと | 👤 他己紹介 |
| 4 好きな通りとその理由 | from ○○ |



浅海 瑞貴 Mizuki Asami

📍 東京都
🎓 文科二類

- 1 いろいろなことがわかったらいいけれどなにもわからないから
- 2 人間のことを少し、知りたい
- 3 写真を撮るのは好きです
- 4 **青山通り～旧渋谷川遊歩道のエリア（の坂）**
新旧・貴賤、時にヘンテコな建築が肩を寄せ合う、坂は萌える！

歴史や路地を深掘る、落ち着いた探究者。趣ある表現は彼ならではの。時折見せる躍動的な面には驚きも。もっと深堀りたい人物。
from 田代



岡田 耀 Yo Okada

📍 岡山県岡山市
🎓 理科一類

- 1 プロジェクト等でお世話になった先生や先輩方に惹かれました！
- 2 見えないものに思いを馳せ、想像できるようにになりたいという気持ちを込めて今年の漢字は「馳」と決めてます！
- 3 ずっと水泳をしてきました！水中のことはお任せください
- 4 **西川緑道公園（岡山）**
まちなかを流れる西川沿いの通りで、いつも散歩してた思い出の場所です！

永野先生を崇拜する生粋のデザイナー。スタディ量は他を圧倒し、詩的なコンセプトメイキングは伝統芸能。個性派 B4 の中でも最も尖った男。 from 高野



高野 広海 Hirumi Takano

📍 東京都江東区
🎓 文科一類

- 1 後先考える前に行動してしまう自分のことを受け入れてくれそうだったから
- 2 **満足できる卒論を書く！**
- 3 人を巻き込むこと、プロジェクトを動かすこと
- 4 **漢口・橋西社区のストリートマーケット**
ごく普通の団地のはずなのに、見た瞬間に心を奪われた。生活に密接した賑わいの空間

動き、悩む。悩み、動く。海図無き海へ乗り出さん。
from 浅海



田代 智哉 Tomoya Tashiro

📍 東京都稲城市
🎓 理科一類

- 1 設計をやってみたくから。
- 2 **院試も卒制もしっかり終わらせる。**
- 3 黙々と GIS や図面などの作業をすること
- 4 **けやき並木通り（東京都府中市）**
大きなけやきと駅前立地が合わさって、落ち着きと賑わいが共存しているから。

四季を楽しむフツ軽な風流人。百貨店への強い愛をお持ちです。温厚な人柄と愛する皮肉のギャップが魅力。いつか感動の涙がみられるといいな！
from 長野

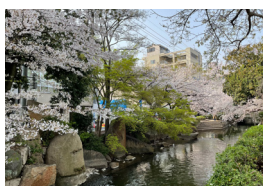


長野 初海 Hatsumi Nagano

📍 群馬県高崎市
🎓 理科一類

- 1 先生と先輩が好きで自分も同じ場所に行きたいなと思うようになり、デザ研以外は選択肢がありませんでした。
- 2 「靱」つよくやわらかくしなやかに生きたいです。
- 3 太鼓と聞いて思い浮かべるものは一通り叩ける…はず！
- 4 **法峰寺参道（高崎市）**
お寺の参道を挟んで小学校の校庭があり、小学生と道行く人のやりとりや、祭りの屋台の風景が美しい通りです。

B3チームのみなかみPJと一緒にやり切った類れる仲間！普段はふんわりと、でもエンジンがかかった時の馬力はすごい、ギャップに注目です。 from 岡田



岡田
西川緑道公園



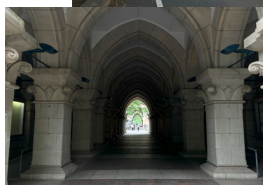
松本
御成通り



田代
けやき
並木通り



長野
法峰寺参道



星
法文一号館
法文二号館



高野
漢口・
橋西社区

新入生紹介 - M1 -

同じ質問でも B4 と M1 でそれぞれ学年カラーが出るところが面白い。



木村 千咲 Chisaki Kimura

📍 東京都杉並区

🎓 東京大学 都市工学科

from 和栗

- 1 自由で雰囲気が好きなのと、学部の中に研究室のこと全然できなかったから
- 2 何事も全力で楽しむ！
- 3 ポジティブでいること
- 4 神楽坂通りと周辺の横丁

神楽坂の賑わいとすぐ裏に昔ながらの路地が共存してるのが好きなのと、小さい頃の思い出があるから。

一見ふわふわした雰囲気でも癒しオーラを振りまくちさびだが、締め切りが迫った時のバイタリティには要注意！



星 葵衣 Aoi Hoshi

📍 福島県福島市

🎓 東京大学 都市工学科

from 木村

- 1 PJ を続けたかったし雰囲気が好きだった
- 2 コンフォートゾーンから（ときどき）出る
- 3 おいしいお店探し
- 4 法文 1 号館と 2 号館を横切る通り

法文 1・2 号館を通る暗い通りの向こう側に、フレーミングされた光と風景が見えるのが好きです。

ちょっと変わったこだわりも含めちゃんと自分を持って知れば知るほど面白い！同期一の計画性は本当に尊敬 & 感謝…！



松本 望実 Nozomi Matsumoto

📍 神奈川県横浜市

🎓 横浜国立大学 建築学科

from 星

- 1 プロジェクト活動が面白そうだったから
- 2 作業スピードを上げる
- 3 食べること、一人でライブに行くこと
- 4 御成通り（鎌倉）

美味しくてかわいいお店と石畳の舗装がとても良いです！

初対面でも話しやすい穏やかな雰囲気！そしてとてもしっかり者だと思っています（研究室会議係えらい）



和栗 千明姫 Chiaki Wakuri

📍 東京都新宿区

🎓 東京大学 都市工学科

from 松本

- 1 自由に研究ができると思ったからです。
- 2 ペースをつかむ！
- 3 ポートレート写真
- 4 栄通り

袖看板の大迫力！いつ通っても商業の力を感じます。

お喋りが面白くて可愛いわくりん！忙しそうなのに活動的すぎて尊敬します！いつか推しの島に連れて行って欲しいです！

COLUMN

WEB MAGAZINE

今後のえきまち空間検討



富士吉田プロジェクト

「下吉田えきまち研究会」と題し、地域の方々と WS を行いました。グループのファシリテーターを任されて少し焦りましたが、良い経験になりました。秋の社会実験に向けて議論を進めていきたいです。(M1 松本)

続きはコチラ >>>

<https://ud.tu-tokyo.ac.jp/ja/blog/>



新入生まちあるき



宇治プロジェクト

5/18 に新入生訪問を行いました。今年度の動き等を確認した後、先生や先輩方に宇治を案内していただき、地図で見ているだけではわからない良さや課題を感じることができて有意義な時間でした！(M1 星)

MACHI BINGO

マガジン片手に、まちを歩こう



本郷周辺

連載第一回ということでも本郷のまちをテーマにした。毎日のように通っている場所だが、意外と通ったことのない道ばかりで、新しい発見がたくさんあった。人々の暮らしと文化が溢れ出すこのまちで、ぜひ自分の推しスポットを見つけて欲しい。(M1 木村)

5 月号担当
M1 東條秀祐



そもそも都市工学専攻が研究対象とする「都市」というのは何なのだろうか。我々の生活する空間全てと、空間に生じるアクティビティ全てが対象なのだろうか？ そうならば私は都市工修士の時間を使って、自身の営むアクティビティである「ランニング」と「都市」との関係を探ることにした。文理融合の都市工で、文武融合の生き方を目指すのだ。